

事業所名

児童デイサービスあすわっと

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

4 月

1 日

| | | | | | |
|-------------|---|--|---------|---|-----------------|
| 法人 (事業所) 理念 | 全社員の幸せの追求・利用者様の幸せのために、質の高い支援を提供し、地域の皆様に信頼される施設を目指します。心ある道を共に、幸せに暮らせる社会の実現に貢献します。 | | | | |
| 支援方針 | 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう支援を行っていきます。利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。 | | | | |
| 営業時間 | 9 時 | 0 分 | 18 時 | 0 分 | 送迎実施の有無 (あり) なし |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・学校や家族からの申し送りやバイタルチェック。様子を元に、その日の過ごし方を見極め支援をしていきます。 ・疲労が感じられているときは、リラックスできる環境やプログラムに内容を変更します。(スヌーズレン等) ・体の変形・拘縮予防に努め、ポジショニングやマッサージに取り組んでいきます。 | | | |
| | 運動・感覚 | ・運動、感覚遊びをもとに、発達の促しをサポートできるような遊びの提供や、特に使用する道具を工夫しながら、日常生活動作につなげられる支援の提供に努めます。 | | | |
| | 認知・行動 | ・発達に合わせ、日常生活の中で不可欠な食事や挨拶など、理解や認識が図れるように支援をしていきます。 ・はじめての会や帰りの会、その他の活動を見通しがもてるように支援をします。 ・動に取り組む前に、視覚化を繰り返すことにより、興味や関心がもてるように支援をしていきます。 | | | |
| | 言語コミュニケーション | ・人とのやり取りや遊びを通して、楽しい気持ちや達成感を共有して、人への意識を高めていきます。手や足への刺激、ふれあい遊び、首や顔のマッサージを通して、外からの刺激にも慣れていきます。 ・好きな遊びなどから興味を伸ばし、状況判断する力や言葉の語彙を広げていきます。コミュニケーション方法に合わせ、身振りや発声(発語)、写真や文字を使った発信する力を広げていきます。 | | | |
| | 人間関係社会性 | 個々の子どもたちの力を育てる個別指導だけでなく、音楽療法や小集団での活動を通して、自己意識、他社意識、社会性やコミュニケーション力を育てていきます。 | | | |
| 家族支援 | ・日常生活や学校との情報共有を図ります。 | | 移行支援 | ・社会人に向けて移行期に関係機関と連携します。 | |
| 地域支援・地域連携 | ・外出や他事業所との交流を通じ、地域と関りをもつ機会を作ります。 | | 職員の質の向上 | ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修(事故防止、応急手当、防犯等) に関する研修(外部研修・内部研修) | |
| 主な行事等 | ・遠足、BBQ、クリスマス会、外出、鏡開き、節分 | | | | |

事業所名

児童デイサービス第2あすわっと

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

4 月

1 日

| | | | | | |
|-----------|---|---|--|-----|------------------|
| 法人(事業所)理念 | 全社員の幸せの追求・利用者様の幸せのために、質の高い支援を提供し、地域の皆様に信頼される施設を目指します。心ある道を共に、幸せに暮らせる社会の実現に貢献します。 | | | | |
| 支援方針 | 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう支援を行っていきます。利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。 | | | | |
| 営業時間 | 9 時 | 0 分 | 18 時 | 0 分 | 送迎実施の有無 あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・健康状態の維持(改善)～粗大運動を取り入れ、体力や運動能力の向上を支援します。・外活動を取り入れることで自律神経機能の向上や健康な発育を支援します。・活動中の水分補給やおやつ摂取による補水・摂食のトレーニングをします。 基本生活スキルの獲得～靴を下駄箱に入れる、荷物を所定のかごに入れる、衣類の着脱、定時のトイレ誘導、手洗いなどを活動の中で取り入れていきます。 生活習慣や生活のリズム形成～活動の流れを変えないことで見通しが立つように支援し、安心して過ごせるようにします。 | | | |
| | 運動・感覚 | ・姿勢と運動、動作の基本的技能の向上～運動を中心とした音楽ムーブメント療育を通して筋力の維持・強化、歩く、走る、跳ぶ、とまる等の基本的動作の習得を目指します。・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用～それぞれにあった方法で支援します。身体能力により姿勢の保持が難しい場合はスタッフが支えたり、椅子にひじ掛けを設置します。触覚の過敏により遊具に触ることが難しい場合は他の遊具に変えたり手袋を使うなどします。刺激を求めて多動傾向がみられる場合、座ったままでも足を動かせる遊具の設置をします。 | | | |
| | 認知・行動 | ・一人一人の認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定をします。音楽ムーブメント療育でそれぞれの認知の発達を支援します。他の人や自分、物を叩くなどの社会的に受け入れがたい行為が見られた際は、応用行動分析の手法を用いてその理由を見つけます。その理由にあった方法で適切な行動の習得を目指します。 | | | |
| | 言語コミュニケーション | ・言語の形成と活用～活動の中で「動く」「止まる」などの基本的な動作と言葉を結びつけます。他にも色や、体の部位、方向、速度、を言葉と動作の結びつけを行います。 | | | |
| | 人間関係社会性 | ・アタッチメント(愛着)の形成と安定・遊び通じた社会性の発達～大人の力を必要とする活動を行うことで対人意識の向上と他者への信頼獲得を目指します。SSTの活用、行動の型をモデル提示し、模倣による習得を目指します。 | | | |
| 家族支援 | ・本人の強み、感覚や認知の特性をお伝えし、必要に応じて面談の機会を設けます。親子療育もを行い、接し方を知ってもらいます。 | 移行支援 | ・移行先と情報共有し、本人や受け入れ先が安心して過ごせるように支援します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | ・外出や他事業所との交流を通じ、地域と関りをもつ機会を作ります。 | 職員の質の向上 | ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修(事故防止、応急手当、防犯等) ・発達に関する研修(外部研修・内部研修) | | |
| 主な行事等 | ・遠足、BBQ、クリスマス会、外出、鏡開き、節分 | | | | |

事業所名

児童デイサービス第3あすわっと

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

4月

1日

| | | | | | |
|-----------|---|---|--|----|--|
| 法人（事業所）理念 | 全社員の幸せの追求・利用者様の幸せのために、質の高い支援を提供し、地域の皆様に信頼される施設を目指します。心ある道を共に、幸せに暮らせる社会の実現に貢献します。 | | | | |
| 支援方針 | 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう支援を行っていきます。利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。 | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 0分 | 18時 | 0分 | 送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有します。・自分で支度をし、体調の悪いときは自分で伝えらるるよう支援していきます。・自分で考えて、選択できる力をつけていきます。 | | | |
| | 運動・感覚 | ・リズムに合わせて体を動かすなどの運動を行い、体のバランス力を養って体幹を鍛え、持続力を高めていきます。・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。 | | | |
| | 認知・行動 | ・タイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。・小集団での楽しい遊びや関りの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるように支援します。 | | | |
| | 言語コミュニケーション | ・小集団の協力ゲームで仲間意識をもち、楽しみを感じてもらう。・ルールを絵やカードを使い、視覚化した支援を行います。・自己紹介や自分の思いを皆の前で発表する機会を作ります。・異年齢の子との関り方を知ってもらいます。 | | | |
| | 人間関係社会性 | ・周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。・あいさつが自然にできるように意識づけをしています。・役割分担のある遊びなどの協力ゲームを設定しています。・公共交通機関の利用やイベントに参加し地域との交流を行います。 | | | |
| 家族支援 | ・本人の強み、感覚や認知の特性をお伝えし、必要に応じて面談の機会を設けます。親子療育もを行い、接し方を知ってもらいます。 | 移行支援 | ・移行先と情報共有し、本人や受け入れ先が安心して過ごせるように支援します。 | | |
| 地域支援・地域連携 | ・外出や他事業所との交流を通じ、地域と関りをもつ機会を作ります。 | 職員の質の向上 | ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修(事故防止、応急手当、防犯等) ・発達に関する研修(外部研修・内部研修) | | |
| 主な行事等 | ・遠足、BBQ、クリスマス会、外出、鏡開き、節分 | | | | |